

【胃がんホットライン】のお知らせ

国立病院機構仙台医療センター 消化器内科

当院の胃がん治療について

内視鏡的な画像診断・治療手技の発達に伴い、リンパ節転移の可能性が極めて低い早期胃がん病変に対してはESD※(内視鏡的粘膜下層剥離術)を第一選択として治療を行っております。※Endoscopic Submucosal Dissection

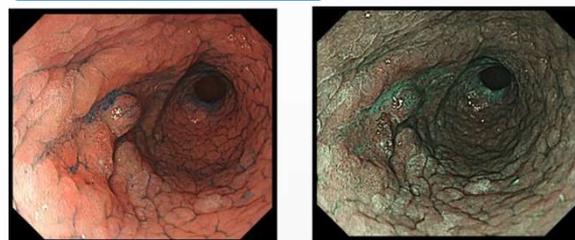
ESDとは…

適応	粘膜に留まる浅い深達度の早期胃がん (リンパ節も含めた転移の可能性がないもの)
治療時間	平均約1時間程度 (鎮静剤を使用して行います)
入院期間	約1週間程度
利点	胃を温存可能で低侵襲
限界	リンパ節などの転移リスクがある場合は外科手術に
合併症	出血・穿孔など (手技や治療具の発達により減少傾向)

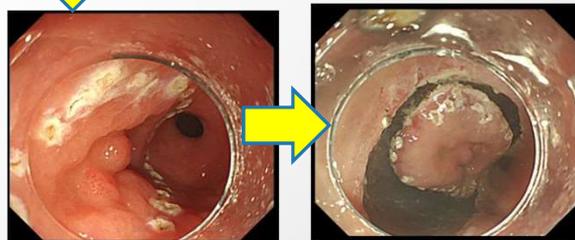


当院医師によるESD術中の様子

ESD手順



前庭部前壁の早期胃がん
(O - IIc)



周囲マーキング後

全周切開後



ESD後

切除標本

28 × 20mm tub1, m

早期胃がんに限らず、当院では治療方針に関して検討が必要な場合は消化器内科・消化器外科・腫瘍内科・放射線科(放射線治療)・病理診断科など複数診療科の医師でカンサーボードを行い治療法の選択を行っております。

胃がんは、早期の段階で見つければ侵襲の少ない内視鏡治療が適応になります。諸先生方におかれましては、胃がん検診などで異常が見つかった際はいつでもご相談下さい。

消化器内科
上部消化管専門医師



荒 誠之

高橋 靖

【胃がんホットライン(疑い含む)(平日・月～金 8:30～17:00)】

連絡先: TEL:090-9133-9387 FAX:022-293-0709

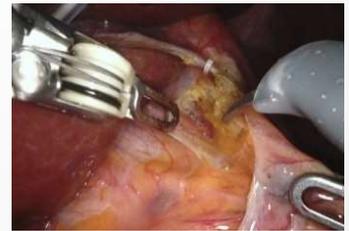
- ・電話は予約センターにつながります。
- ・FAXは専用フォームで申し込みください。
- ・「胃がん」治療の予約が即可能です。
- ・専門医師に直接ご相談の場合は、申し出ください。

患者様にやさしい胃がんの手術を目指して！
【da Vinci胃がん手術】を開始しました！！

国立病院機構仙台医療センター 外科



当院医師による「da Vinci胃がん手術」の様子



da Vinci胃がん手術について

- 「da Vinci胃がん手術」は有用性と安全性を国から認められているため、健康保険が適用されます。当院でも手術適応となる早期胃がんを中心に行っております。
- 当院では内視鏡外科学会が定める指針で求められている施設条件及び術者条件を満たしており、適切で低侵襲な手術を患者様に提供できるものと考えております。

胃がん治療について

- 進行胃がんに対しては周術期化学療法を併用した治療を行い、患者様の予後が改善することに努めていきたいと考えております。
- 胃がん治療の発展を目指し日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）に参加しております。
(<https://www.jcog-stomach.com/>)

当院での入院中サポート

当院では周術期のリハビリテーション（嚥下リハビリを含む）や栄養サポートを行っており、ADLの維持と早期退院を目指しています。

外科 上部消化管チーム



湯目 玄

手島 伸

染谷 崇徳



リハビリの様子



栄養指導の様子

退院後も栄養管理を継続しております。

【胃がんホットライン(疑い含む)(平日・月～金 8:30～17:00)】

連絡先: TEL: 090-9133-9387 FAX: 022-293-0709

- ・電話は予約センターにつながります。
- ・FAXは専用フォームで申し込みください。
- ・「胃がん」治療の予約が即可能です。
- ・専門医師に直接ご相談の場合は、申し出ください。

・胃切除後障害対応施設
<https://www.jsgp.jp/>

・胃を切った人 友の会
アルファ・クラブ 病院会員
<https://alpha-club.jp>